



カワセミは
何を食べる？



1

こ 小魚



2

む 虫



3

し 植物の実や種



メダカは
川のどんな場所
にすんでいる？



1

なが 流れの速い場所



2

なが 流れのゆるい、
小川や浅瀬



3

い 石の下



1 小魚

カワセミは、海岸や川、沼、湖などにすむ小さな鳥で、小魚やエビ、ザリガニなどを食べているんだ。水中に飛び込んでつかまえたエサを、枝などにたたきつけて動かなくしてから飲みこむよ。野川にはエサになる生きものがたくさんいるから、カワセミも生きていけるんだ。



モツゴ



ドジョウのなかま



エビのなかま



ザリガニ



カワセミがすめるのは、野川に土手があるから

カワセミは、2月の終わりと3月頃に子育てをはじめるよ。川ぞいの土手などに直径5cmほどの穴をくちばしてほって、その中に4〜8個の卵を産んで、およそ2ヶ月間、子どもを育てるんだ。野川のように、コンクリートで固められていない土のままの川岸と、たくさんの水生生物がいる場所が、カワセミにはとても大事なんだ。



くちばしの下が黒いのがメス



くちばし下が黒くないのがオス

2 流れのゆるい、小川や浅瀬

メダカは、日本にすんでいる淡水魚の中で、もっとも小さな魚なんだ。体長が4cmほどなので、流れの速い場所ではじょうずに泳げないし、深い場所には大きな魚がいて食べられてしまうから、流れのゆるい小川や浅瀬によくいるんだ。川岸の浅いところでは、群れになって泳ぐメダカが観察できるよ。



メダカの卵は、マグロの卵より大きい

体の大きなクロマグロは、メダカのおよそ100倍の体長3cmにもなるんだけど、卵の大きさはたったの1mmほど。体は小さいけど、メダカの卵は1〜1.5mmの大きさなんだ。卵の形もちがっていて、マグロの卵はツルツルで、ひとつぶずつばらばらになって水にういているけど、メダカのほうは、卵から1〜2cmの糸がたくさん出ている、水草にくっついて流されないようになっているんだ。



メダカの卵

マグロのなかまの卵



背びれに切れこみがないのがメス



背びれに切れこみがあるのがオス